

石橋財団フォーラム

公益財団法人石橋財団は、寄付助成事業で支援した活動を広く皆さまにご紹介し、情報交換するフォーラム型プログラムを開催します。

美術外交

— 欧州における日本浮世絵コレクションの形成

2024年5月31日(金) 18:30-20:00 (開場18:00)

日本で浮世絵の評価が低かった明治時代、何十万点もの作品が海外に流出し、現在では多くの美術館に収蔵されています。また、ゴッホ、ホイッスラー、モネといった当時の画家たちは、浮世絵を収集しただけでなく、そこから自らの作品のインスピレーションを得ていました。本講演では、浮世絵がどのようにヨーロッパの美術館に収蔵され、どのような用途で使用され、どのような展示が行われているのかを紐解きます。

講師のチューリッヒ大学 ハンス・トムセン教授は、石橋財団が支援した、スイス連邦工科大学チューリッヒ校 版画美術館が所蔵する浮世絵コレクションの展覧会、およびドイツのドレスデン版画素描館が所蔵する日本版画コレクションのデータベース化・オンライン文書化のプロジェクト、二つの活動に深く関わられました。トムセン教授には、これらのコレクションを中心にご講演いただきます。

会場 アーティゾン美術館 3階レクチャールーム

言語 日本語

定員 70人(事前予約制・先着順) / 自由席

※定員に達し次第、受付終了

参加費 無料

申込 石橋財団ホームページから
www.ishibashi-foundation.or.jp/programs/grant/forum/

ご注意

- ・レクチャールームは無料エリアのため、展覧会をご覧にならなくても受講可能です。
- ・当日、体調の悪い方、発熱や咳き込み等の症状のある方はご参加いただけません。
- ・諸般の事情により、プログラムを中止することがあります。



Speaker
講師

ハンス・トムセン

(チューリッヒ大学 美術史学部教授、専攻 日本美術史)

京都生まれのデンマーク人。米国プリンストン大学で博士号取得。2019年に日本とスイスの芸術文化交流に多大な貢献をしたとして、旭日小綬章を受勲した。浮世絵や日本美術に関する展覧会を多数企画。



スイス連邦工科大学チューリッヒ校 版画美術館
© Graphische Sammlung ETH Zurich,
Photo: Livio Baumgartner



ドレスデン城の三階に位置するドレスデン版画素描館
© Staatliche Kunstsammlungen Dresden,
Photo: David Brandt, 2013